

令和8年度 教 育 計 画						学校番号 6	
松山市立清水小学校							
校長名	大倉 匡仁	学級数	16 (3)	児 童 生徒数	394	教職員数	24

学校の教育目標

夢をもち、心豊かにたくましく生きる清水っ子の育成

校訓

にこにこ いきいき はつらつ
と仲良くする子 と学習する子 と生活する子

- 違いを認め、多様性を尊重できる子
- いじめを許さず、自立した行動ができる子
- 学級・学年・異年齢など様々な集団において活躍できる子
- 地域の方々との交流等を通し、我が町を愛する子

- よい学習習慣を身に付けた子
- 主体的に学習し、情報をよりよく活用しようとする子
- ふるさとに愛着と誇りを持ち、進んで体験的な学習に取り組む子
- 読書に親しむ子

- よい生活習慣を身に付け、心と体を鍛える子
- 自己肯定感や夢を持ち、自他の命を大切にする子
- 愛校活動を推進し、主体性や社会性、奉仕の心を育む子
- 持続可能な社会に貢献できる子

学 校

「個が活躍できる」「共に学び合う」「安全・安心な」場としての学校

「温かく人間性豊かな」「学び続ける」「共働・協働する」「献身的で専門的な」教師・スタッフ集団による組織力の高い学校

笑顔があふれる学校づくり

温もりのある家庭
学校を支える力強いPTA
頼もしい見守り隊

豊富な地域学習材・地域人材
連携しやすい大学・高・中・小・幼保、関係諸機関
校内にある「いきがい交流センターしみず」
公民館等の熱心な地域の関係諸団体

家 庭

地 域

重点目標	1 にこにこ仲良くする子の育成 ◎ 多様性を尊重する道徳教育、人権・同和教育、特別支援教育の推進 ○ いじめ防止、デジタル・シチズンシップ教育、不登校対策の推進 ○ 真の主体性を育てる学級・学年活動、異年齢集団活動の充実 ◎ 「いきがい交流センターしみず」等の地域の方々や他校園との交流 2 いきいきと学習する子の育成 ◎ 一人一人の特性に応じた個別最適な支援の充実と基本的学習習慣の確立 ○ 自ら考え課題を解決する力の育成と「主体的・対話的で深い学び」の実現 (「松山の授業モデル」とICTの活用) ◎ 「ふるさと清水」への愛着と誇りを育てる教育の推進 ○ 心をゆさぶる体験活動の充実 ○ 学校図書館を核とした読書活動の推進 3 はつらつと生活する子の育成 ◎ 一人一人の特性に応じた基本的生活習慣の確立（心と体の健康、食育） ○ 命を守る安全教育、防災教育の推進 ○ 自己肯定感や夢を育むキャリア教育の推進 ◎ 主体性、社会性や奉仕の心を育てる愛校活動（清掃・挨拶・飼育）の推進 ○ SDGsに関する取組の充実 (◎令和8年度に特に注力する事項)
管理運営	1 人的管理 ○ 温もりと相互信頼を基盤とした、笑顔あふれる働きやすい職場づくり ○ 心身の健康管理と服務規律の明確化、報告・連絡・相談・協働・確認の徹底 ○ 一人一人の意識改革と業務改善、地域連携等による働き方改革の推進 ○ 目標チャレンジ制度・研修制度等を生かした人材育成 2 物的管理 ○ 安全・安心で潤いと清潔感のある充実した教育環境の整備 ○ 確実な安全点検による潜在危険箇所の早期発見・早期対応 ○ 施設・設備・備品等の適正な管理と有効活用 3 事務管理 ○ 事務内容の明確化と事務処理の適正化・効率化 ○ 決裁等の改善による文書事務の整理と個人情報等の適切な管理 ○ 校務分掌の適正化と協力体制による正確な処理と相互確認の徹底
本校教育の特色	本校が位置する城北「清水の里」は、縄文時代からの古い歴史をもち、豊かな生活文化や教育的伝統を有する地域である。今年度は、本校が現在の地に創設されてから98年目（明治5年、鉄砲町に清水学校ができてからは153年目）を迎える。平成14年度に四国で初めて小学校と施設を共用する「いきがい交流センターしみず」が創設されてから24年間続けている福祉と教育が連携した活動は、本校教育の大きな特色である。また、近隣にある大学や高校、中学校、各種施設、教育熱心で協力的なPTAや地域諸団体と進めてきた連携は、「ふるさと清水」を誇りに思う児童の育成に寄与している。こうした伝統を基盤に、小中連携等の取組も加え、教職員と専門スタッフが「チーム清水」として協力し合い、「にこにこ いきいき はつらつ」とした主体性あふれる児童の育成に努め、全ての児童が「友達大好き 先生大好き」と思える学校、「明日も来たい！」と思える学校を目指したい。